

SATURIN NEWS

尿沈渣表記変更のお知らせ

謹啓、時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、尿沈渣検査の標準化の観点から尿沈渣成績の記載様式を、日本臨床検査標準協議会の指針(JCCLS GP1-P3)に基づき、別表の通り変更させていただきます。なお、血球・上皮細胞類については、当該指針中、「日臨技法」として例示された記載方法を採用いたします。

また、円柱以降の各成分が観察された場合には、その概数に応じて“1+”～“3+(または4+)”の区分にて報告されます。例外としてJCCLS GP1-P3に記載がない粘液糸、精子に関しましては、一か1+で記載いたします。

謹白

記

開始日：平成19年8月13日受付分より

尿沈渣成績記載方式の新旧対比表

	新(JCCLS GP1-P3準拠)	旧
血球系・上皮系	1個未満/HPF	(-) 1/スウシヤ
	1~4個/HPF	0-1/シヤ 2-3/シヤ
	5~9個/HPF	3-5/シヤ 5-10/シヤ
	10~19個/HPF	10-15/シヤ 15-20/シヤ
	20~29個/HPF	20-30/シヤ
	30~49個/HPF	+
	50~99個/HPF	++
	100個以上/HPF	+++
	円柱系	(-)または(1+)~(4+)にて報告
細菌・酵母	(-)、(±)または(1+)~(3+)にて報告	(-)、FEW、(+)にて報告
原虫・寄生虫卵	(-)、または(1+)~(3+)にて報告	(-)または(+)にて報告
結晶・塩類	(-)、または(1+)~(3+)にて報告	(-)、FEW、(+)にて報告

[注] HPF: 400倍鏡検 (強拡大 high power field) 報告書は、Hで表現します。

新検査法の参考文献:JCCLS尿沈渣専門委員会:日本臨床検査標準協議会会誌 第15巻2号:61-67, 2000.



札幌臨床検査センター 株式会社
SAPPORO CLINICAL LABORATORY INC.

尿沈渣成績記載法

	新(JCCLS GP1-P3準拠)	判定基準
血球系・上皮系	1個未満/HPF	/
	1~4個/HPF	
	5~9個/HPF	
	10~19個/HPF	
	20~29個/HPF	
	30~49個/HPF	
	50~99個/HPF	
	100個以上/HPF	
円柱系	—	0
	1+	1個~/WF
	2+	100個~/WF
	3+	1,000個~/WF
	4+	10,000個~/WF
細菌・酵母	—	0
	±	数視野に散在
	1+	各視野にみられる
	2+	多数あるいは集塊状に散在
	3+	無数
原虫・寄生虫卵	—	0
	1+	1個/WF~4個/HPF
	2+	5~9個/HPF
	3+	10個~/HPF
結晶	—	0
	1+	1~4個/HPF
	2+	5~9個/HPF
	3+	10個~/HPF
塩類	—	なし
	1+	少量
	2+	中等量
	3+	多量
粘液系・精子	—	なし
	1+	各視野にみられる

[注] HPF: 400倍鏡検 (強拡大 high power field) 報告書は、Hで表現します。

[注] WF: 全視野 (whole field)